

1. 緒言

笠間焼業界では従来より、各事業所が独自の食器を製造販売している。また、近年、食器はあらゆる場面において、誰にでも使いやすい物が求められている。これに対応するため「ひとにやさしい・やきものづくり」をテーマに、製陶業者・医療福祉関係者・販売業者 29 名で構成する笠間焼商品開発研究会で商品開発を行った。

当研究会ではハンディを持っている方の為に制作した物ではなく、子供やお年寄りなど、誰でも使いやすい食器で隠し味的にハンディを持った方も対応できる機能を持たせること、そして一般食器の中に、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくことで、芸術性を維持し、かつ機能性にも十分対応できること、また、「食べる」ということを広く捉えて開発することを考慮した。

また同時に、笠間は小規模な事業所が多く、小回りが利くという特徴があり、作り手と使い手（生活者）が近いという利点を活かし、使い手のレベルや好みにあったオーダーメイドシステムを導入し、より細かなサービスが可能になった。

2. 内容

当研究会に於ける 3 年間の活動内容を報告する。

平成 13 年度は情報収集、開発商品の検討、展示発表等を行った。平成 14 年度は、更なる開発商品の検討、医療施設などでのモニタリングを実施し、開発商品に反映させた。これらの活動について、全国陶磁器試験研究機関作品展「陶&くらしのデザイン展 2003」にてデザイン賞、全国地場産業優秀技術・製品の表彰にて奨励賞を受賞し、評価を得ることが出来た。平成 15 年度は、販路の確立・拡大と「Kasama Design (KD)」カサマデザインの定義づくりを行った。

2.1 ユニバーサルデザイン・福祉現場の情報収集

日本衛生歯科医師

会全国学術大会、第 24 回全国歯科保険大会、第 12 回茨城県歯科医学会等に参加出展し、情報収集や意見交換を行った。

2.2 開発製品の発表、意見交換および商品化

持ちやすさ、すくいやすさ、使いやすさを考慮した試作品を持ちより、技術的な意見交換を行った。また、会員の中で書籍「糖尿病のための献立」を出版するため、撮影用の食器を提供した。

2.3 モニタリングによる情報収集・検討

茨城県デザインセンターの協力を得、(有)大光電機工業所の開発した指をかけやすく軽くて持ちやすい樹脂製グリップと各製陶業のカップを融合した商品開発を行った。

また、オーダーメイドシステムの一例で、手の不自由な方の為の器として、食べ物が一箇所に集まり、スプーンですくいやすい角度の返しがある器と、誤飲・誤嚥防止を考慮した二重構造のカップを開発した。



図 1：オーダーシステムの器
食べやすい角度・かえしがある。
(小林製陶)



図 2：オーダーシステムのカップ（正面）
四本指がしっかり入る大きめの取っ手。
(やまさき陶苑)



図 3：オーダーシステムのカップ（上記横図）
カップ部が飲みやすい角度に傾けてある。

2.4 「Kasama Design (KD)」評価基準の作成

笠間焼が社会に貢献するために、当研究会の内容から生まれたアイデアを更に話し合い具体化した「Kasama Design (KD)」カサマデザイン。「気楽に、個別に、笠間焼」として、1. 気楽に気負わず自分らしいセンスで楽しんで創作。2. 滑らない・飲みやすい・食べやすい・持ちやすい・倒れにくい・洗しやすい等安心して使える。3. 機能回復を助けるリハビリテーション的效果、4. 食欲想起と癒し効果を持つアートセラピー的な器等、「あなたの注文に応じます」と個別に対応、5. エコロジーをテーマに人と環境にやさしい素材を用いた笠間焼とした。

3. 結言

3.1 課題

今後の課題として、今まで制作されてきた商品を客観的に、機能面に於いて評価する必要がある。その為に設定した「Kasama Design (KD)」(カサマデザイン) 評価基準の更なる強化が挙げられる。

また、器種・テーマごとに、引き続き試作を進めていくと同時に、福祉・業務用食器業界への参入等を念頭に据えた販売網の体制を強化し、開発商品の更なる普及を進める。

3.2 まとめ

当研究会では、異業種同士の活発な意見交換を行うことで、食器に於ける新市場を切り開いてきた。これら開発商品は次代の笠間焼の顔になりうる商品であり、当研究会の開発方針は、従来の笠間焼の特徴であった作り手発想から使い手発想へ転換するものであり、絶えず変化していくニーズに対応する体制作りが出来てきた。

当研究会は来年度から「チーム KDS」(Kasama Design Sprits) と名称を改め、生活者の視点に立った商品開発を続けていくと共に、笠間焼業界の振興に務める。



図4：開発商品（武陶房）



図5：開発商品（器工房 Y's works）